

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期の連結業績予想については、足元の状況を踏まえ第2四半期以降の原油価格・為替レートの想定を見直した上で、第1四半期の実績と合せ前回予想を修正し、売上高は4億円減の594億円、営業利益及び経常利益は6億円増の31億円、当期純利益は3億円増の20億円となる見込みです。

なお、通期の業績予想については、前回予想から修正はありません。

(参考) 原油価格・為替レートの想定

原油価格 (全日本CIF)	前回想定	80ドル/bbl (第2～4四半期)
	今回想定	83ドル/bbl (第2～4四半期)
為替レート	前回想定	95円/ドル (第2～4四半期)
	今回想定	93円/ドル (第2～4四半期)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(ハ) 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主として工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間から適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

この変更による損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	33,202	20,420
供給設備	34,976	35,811
業務設備	3,997	4,057
その他の設備	5,299	5,299
建設仮勘定	2,156	14,316
有形固定資産合計	79,631	79,905
無形固定資産	1,628	1,598
投資その他の資産		
投資有価証券	8,011	7,658
長期貸付金	3,318	2,472
繰延税金資産	1,495	1,623
その他投資	873	839
貸倒引当金	△301	△297
投資その他の資産合計	13,397	12,296
固定資産合計	94,657	93,800
流動資産		
現金及び預金	1,423	5,075
受取手形及び売掛金	9,111	6,898
商品及び製品	317	319
原材料及び貯蔵品	5,650	4,286
繰延税金資産	1,681	1,666
その他流動資産	1,843	2,098
貸倒引当金	△58	△53
流動資産合計	19,970	20,292
資産合計	114,627	114,092

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	33,981	32,392
繰延税金負債	43	33
退職給付引当金	3,078	3,045
ガスホルダー修繕引当金	213	206
負ののれん	901	960
その他固定負債	707	791
固定負債合計	38,925	37,429
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	5,570	6,050
買掛金	7,321	9,715
短期借入金	4,646	41
未払金	914	2,342
未払法人税等	1,238	3,656
賞与引当金	1,014	445
その他流動負債	1,250	2,205
流動負債合計	21,955	24,457
負債合計	60,881	61,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,589	4,589
利益剰余金	33,228	32,100
自己株式	△25	△25
株主資本合計	44,071	42,943
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,254	2,025
繰延ヘッジ損益	3	4
評価・換算差額等合計	2,258	2,029
少数株主持分	7,416	7,233
純資産合計	53,746	52,206
負債純資産合計	114,627	114,092

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	30,768	29,867
売上原価	17,509	21,348
売上総利益	13,258	8,519
供給販売費及び一般管理費	5,804	5,908
営業利益	7,453	2,611
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	2	1
負ののれん償却額	49	62
雑収入	68	66
営業外収益合計	136	145
営業外費用		
支払利息	206	165
雑支出	4	3
営業外費用合計	210	169
経常利益	7,378	2,588
特別利益		
ガス熱量変更引当金取崩し	28	—
特別利益合計	28	—
特別損失		
固定資産売却損	—	2
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	7,407	2,585
法人税等	2,639	951
少数株主利益	1,200	200
四半期純利益	3,567	1,432

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,407	2,585
減価償却費	2,766	3,163
長期前払費用償却額	0	—
繰延資産償却額	23	—
負ののれん償却額	△49	△62
有形固定資産除却損	9	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19	9
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	47	33
ガスホルダー修繕引当金の増減額 (△は減少)	8	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	567	569
ガス熱量変更引当金の増減額 (△は減少)	△28	—
受取利息及び受取配当金	△17	△16
支払利息	206	165
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	2
売上債権の増減額 (△は増加)	151	△2,218
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,188	△1,361
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,625	△2,378
未払又は未収消費税等の増減額	703	△1,330
その他	△3,283	△1,021
小計	7,094	△1,839
利息及び配当金の受取額	18	16
利息の支払額	△260	△208
法人税等の支払額	△537	△3,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,315	△5,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16	△19
定期預金の払戻による収入	16	22
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,466	△3,489
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	2
投資有価証券の取得による支出	△334	△1
貸付けによる支出	—	△900
貸付金の回収による収入	53	54
工事負担金等受入による収入	133	79
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	628	—
その他	△42	443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,026	△3,807

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△501	4,604
長期借入れによる収入	2,900	3,150
長期借入金の返済による支出	△2,594	△2,041
配当金の支払額	△223	△304
少数株主への配当金の支払額	△10	△13
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△429	5,394
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	859	△3,648
現金及び現金同等物の期首残高	698	5,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,558	1,398

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	ガス	LPG・その他エネルギー	その他	計	消去又は は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	26,090	2,864	1,813	30,768	—	30,768
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	125	80	1,217	1,423	(1,423)	—
計	26,216	2,944	3,030	32,191	(1,423)	30,768
営業利益又は 営業損失(△)	7,729	497	△ 62	8,163	(710)	7,453

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	ガス	LPG・その他エネルギー	その他	計	消去又は は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	24,664	3,144	2,058	29,867	—	29,867
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	191	96	1,278	1,566	(1,566)	—
計	24,855	3,241	3,337	31,434	(1,566)	29,867
営業利益	2,891	384	24	3,300	(689)	2,611

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 四半期個別経営成績等の概況 (平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	26,265	△2.6	1,207	△23.9	1,320	△19.4	890	△18.5
21年12月期第1四半期	26,962	—	1,587	—	1,637	—	1,092	—

	総資産	純資産
	百万円	百万円
22年12月期第1四半期	93,129	28,873
21年12月期	90,505	28,082

四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象となりません。四半期個別財務諸表は四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

(2) ガス販売量 (個別)

		当第1四半期 (22/1～22/3)	前年同四半期 (21/1～21/3)	増減	増減率(%)	
需要家件数		戸	316,816	316,598	218	0.1
ガス 販 売 量	家庭用	千m ³	30,695	30,191	504	1.7
	商業用	〃	8,244	8,043	201	2.5
	工業用	〃	169,508	145,586	23,921	16.4
	その他用	〃	9,834	9,454	381	4.0
	卸売	〃	111,847	45,096	66,752	148.0
合計		〃	330,129	238,370	91,759	38.5
大口販売量		〃	167,623	145,349	22,274	15.3

(注) 1 「期末需要家戸数」は、期末取付メーター数を記載しております。

2 「期末需要家戸数」には、卸売先の需要家数は含みません。

3 販売量は1m³当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入して表示しております。